

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ユスタバ		公表日		2025年3月28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		室内の広い空間を使って、活動を行っている。場面ごとにテーブルや椅子の配置を変え、構造を変えている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		職員配置は、基準より多く配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		活動場所には、最低限の物を置き、子ども達が何をするか分かりやすくしています。	エレベーターが無く、部屋に入るためには階段を登る必要がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎日、数回の掃除・消毒を実施しています。活動に合わせて、空間を作っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		活動に合わせて、テーブルなどの出し入れを行っている。必要時に、集団を離れられるようになっている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		クラス会議、ケースカンファレンス、クラスのスーパービジョンを行い、支援の方向性の確認と振り返りを行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者からの意見をしっかりと受け止め、職員間で共有し、支援に反映できるようにしています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		クラス会議、グループと個別のスーパービジョンを行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	第三者評価は受けていません。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		研修は、年代や職種別で頻繁に行っています。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		法人のホームページにて公開しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		保護者との面談は定期的に行っています。クラス会議内で、面談内容を共有し、支援計画にも反映させています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		クラス会議などで、子どもの共通認識を持ち、方向性を一致させて支援を行えるようにしています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		クラス会議やケースカンファレンスを通して、子どもそれぞれの支援計画に沿った支援を行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		共通のアセスメントツールを使っています。毎日の記録等から、子どもの様子を共有してアセスメントに繋げています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		・包括的な支援に繋がるように、まずは本人支援を中心とした支援内容を検討し、家族支援、移動支援、地域支援、地域連携に目を向けた内容を精査しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		子ども達の特性や特徴を踏まえて、活動が有意義なものになるように、クラス会議内で話し合っています。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		子どもの達の意欲に合わせて、活動参加を促し、工夫して取り組んでいます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団活動の中で、必要時に個別の関わりを取る時間を作っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		事前にその日の体制や活動の流れなどを居有して、安全を守って療育を行えるようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援の中で感じたことや子どもの気づきについて、話し合う時間を取っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日の療育の記録を残しています。支援計画、実行、振り返りを通して、子どもそれぞれに合った支援に繋げていきます。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6ヶ月以内に、計画の見直しを行っています。また、見直しの際、日々の支援を振り返って計画しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		発達領域を理解し、職員同士で共有の上、子どもに合わせた支援を行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		子どもそれぞれに合わせて、説明を行い、子どもの気持ちを確認します。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		職員間で子どもの現状・課題・支援内容などを定めた後に、代表者が会議等に参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		支援の輪が広がるように、各種連携機関との情報共有を行なっています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校と連携を取り、情報共有を行ないました。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		移行時に情報共有を行なえるよう、関係機関と連絡を取る機会を持っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		今年度は対象のお子さんがいませんでした。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		法人でセンター研修を主催、参加しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域での公園活動などの際に、地域の人と交流することがありました。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		研修会を主催するなど、積極的に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		お迎えの際や、送迎時等に、保護者に対してお子さんの様子を伝え、情報共有を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		グループカウンセリングやパパの会など、CSPを学ぶ機会を作っています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時や利用開始前に、丁寧に説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		本人や家族の願いや意向を聞き取り、個別支援計画に反映させています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		全ての保護者に対し、個別支援計画の内容について丁寧に説明を行い、同意を得ています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		親子発達支援に加え、面談の機会を設けて、家族の困り感の聞き取りを行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		親子発達支援を年2回実施し、保護者同士が話が出来る場を提供しています。法人内で年齢別に分けたグループカウンセリングを行っています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		メールや電話でも苦情を受けつけています。法人内での苦情よりマニュアルに沿って、迅速に対応するようにしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月、クラス便りを作っています。ホームページなどでも活動の様子をお伝えしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		保管時は、鍵のかかる書庫に保存し、不要なものについては、すぐにシュレッダーをしています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子さんの様子を電話やメールで伝えています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		今年度はバザーを行っていません。	バザー以外にも、地域の方との交流ができるような工夫が必要。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルは事業所に掲示しています。年間を通して、研修やロールプレイを行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定しています。避難訓練計画を作成して、毎月訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時などに、服薬や癲癇、予防接種等について保護者との確認を行っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーがある子どもについては、給食提供前に必ず、医師の診断書を提出いただき、指示に従い食事の提供をしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		法人内に安全委員会を設置し、研修等を通して、安全管理についての情報や措置を共有しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画に沿って、研修や練習を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		法人内に安全委員会があり、ヒヤリハットの分析を行って、注意喚起を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎週月曜日に、虐待防止・権利擁護の観点から、事例の伝達をしています。またアンガーマネジメントの練習も週に一度、行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		法人内に委員会を設置し、対応を決めています。それに則って、クラス内で確認しています。保護者にも事前に説明を行っています。		